



市長と語ろう！ ちくせい市政懇談会

懇談会テーマ：学校の在り方について 自治会連合会

須藤市長が市政の課題を市民のみなさんと一緒に考え、知恵を出し合う市政懇談会。今回は2月5日に開催し、筑西市自治会連合会役員21人のみなさんに学校の在り方について意見をいただき、ともに考えました。

自 新入生が減少していくことで、小中一貫校や小学校の統合などを考えなくてはならない。一方で統合に反対する意見もある。

市 保護者や地域住民にも説明をし、合意形成を図りながら進めていく必要がある。20年後には建替え時期を迎える学校が多いことから、アンケートや資料データを基に検討していく。

自 閉校になった小学校跡地の管理について。

市 2年間の公募による募集を経て、買い手などが決定しなければ、解体も含めて方向性を検討していく。



1/30 筑西市拠点校軟式野球部 県中学校新人体育大会で優勝



県中学校新人体育大会軟式野球競技で優勝した筑西市拠点校軟式野球部が市役所を訪れ、その喜びを須藤市長に報告しました。筑西市拠点校軟式野球部は明野五葉学園、協和中、関城中の合同チームで、3月下旬に行われる全日本少年春季軟式野球大会に県代表として出場します。

2/3 「鬼は外、福は内」春の伝統行事 下館羽黒神社節分祭



立春の伝統行事の1つ節分祭が羽黒神社で行われました。昭和初期から始まったと言われ、約100年の歴史がある下館羽黒神社節分祭。福の神や鬼が境内に立ち並び「鬼は外、福は内」の掛け声でお菓子や破魔矢がまかれると、会場内には今年一年の福を授かろうとたくさんの参拝客で賑わいました。

2/5 シティプロモーション講演会 人を育て、まちを育てる



「筑西市のシティプロモーションを進展させるには」をテーマにしたシティプロモーション講演会をコミュニティプラザで開催しました。当日は約130人が参加し、講師の東海大学客員教授河井孝仁先生から、市の魅力向上のヒントを学びました。参加者は「自分事として捉えてみんなと協力する姿勢の大切さを学んだ」と地域活性化への意識を高めました。

2/14 年に2回の神秘的な光景 ダブルダイヤモンド筑波



本市が誇る年に2回の絶景「ダイヤモンド筑波」。今年の2月は天候に恵まれ、筑波山の山頂から朝日が美しく輝く幻想的な風景を、母子遊水地から望むことができました。寒さ厳しい早朝にもかかわらず、連日多くの人々がその風景を一目見ようと集まり、自然の作り出す絶景に心をうばわれていました。次回は10月28日前後にその姿を見られますので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

2/28 地域の卒業生に向けて「おめでとう」 下館一高生が「CAFE28+」で壁画アート

学生や若者の居場所づくりを目的に、中央図書館東側広場のまちなかチャレンジショップ「CAFE28+」と下館第一高等学校（木村功校長）美術部の1・2年生が協力し、壁画アートに挑戦しました。この壁画アートは「卒業」をテーマに、幼稚園生や学生など地域の卒業生に向けて描かれ、旅立ちの門出を祝いました。

壁画は3月末までの期間限定となりますので、お立ち寄りの際にはフォトスポットとして活用してください。



2/16 全国随一のそば生産地をPR 常陸秋そば早食い大会 in ちくせい



市観光振興推進協議会（渡辺一洋会長）主催の「常陸秋そば早食い大会 in ちくせい」がグランテラス筑西で初めて開催されました。当日は大学生考案のそば粉を使ったガレット作り体験やそば打ち体験、地元名人によるそばの販売など、そば一色で大盛り上がり。またメインイベントのそば早食い大会には男女合わせて63人が参加し、熱い戦いが繰り広げられました。

2/23 多文化共生社会の実現に向けて ふれてみよう！異国の文化



市国際友好協会主催の異文化交流イベントがアルテリオで開催されました。当日は、講師のカルハリ・ウデシカさんによるスリランカ文化の紹介や琴の演奏、獅子舞など日本の伝統文化が披露され、両国の文化について理解を深めました。会場にはさまざまな国にルーツを持つ人たちが集まり、お互いの文化に触れ合い、交流を図りました。

2/28 こどもたちの夢を乗せて B & G財団から送迎用車両の贈呈



令和6年度に市が設置し、（一社）茨城サドベリースクール（田中邦東代表理事）が運営する、子ども第三の居場所コンテナ（前田康吉会長）から子どもの送迎用車両が贈られました。同施設は、学校以外の学びの場や家のほかにも温かなつながりを持てる場を求める子どものための場所で、須藤市長は「児童生徒の通所や課外学習の送迎などに役立ててほしい」と活動を応援しました。

3/18 県内外312人から応募 筑西・下妻広域連携バス愛称決定



筑西・下妻広域連携バス



地域内運行バス



道の駅循環バス

川島駅と下妻駅を結ぶ「筑西・下妻広域連携バス」は、市と下妻市が連携し令和6年4月から本格運行しています。みなさんに愛着を持ってもらうため愛称を募集し、バス運行委員会で最終選考を実施し「ペアリン号」に決定しました。なお市誕生20周年記念事業の一環で2台のコミュニティバスを新デザインに切り替え、現在3台のラッピングバスを運行しています。

2/6 県市長会自治功労者表彰
地域の結束と発展に貢献



県市町村会館で令和6年度県市長会自治功労者表彰式が行われ、鈴木親男さんが受賞しました。鈴木さんは、長年にわたり、自治会長として地域の結束と発展に努めるとともに、市自治会連合会会長として、市内自治会の連携を深め、明るく住みよいまちづくりの推進に大きく貢献されました。

2/20 道路里親制度認定
地域の道路を我が子のように



市は(株)ミゾグチ（溝口明洋代表取締役）と道路里親制度の協定を交わしました。道路里親制度とは、市が管理する道路を「里子」、沿道のボランティア団体などを「里親」にたとえて、道路の清掃や除草などを行っていただくものです。本市では、令和3年度に制定してから2社目となります。

2/27 最盛期を迎える
スーパーフルーツマト「てるて姫」



最盛期を迎えた筑西ブランド認証品のスーパーフルーツマト「てるて姫」のPRのため、協和園芸開発(株)（谷島重徳代表取締役）が市役所を訪れました。てるて姫は、糖度9度以上のものを厳選し、甘みが強く、大玉なのが特徴です。旬を迎えたてるて姫をぜひ一度、ご賞味ください。

スポーツ Sports News

茨城県武道フェスティバル
剣道大会

11月30日
東日本技術研究所武道館（水戸市）



【団体戦】第3位 下館士徳会

春の全国小学生
ドッジボール選手権茨城県大会

1月26日
ひたちなか市総合運動公園
総合体育館



【子ども会・フレンドリーの部】
第3位 竹島フェニックス

関東ホープス卓球大会

2月8日
アダストリア水戸アリーナ



【女子団体戦】
第3位 トップピンポン

スポーツの結果
掲載基準の変更について

令和7年5月1日号より次のとおりとします。

- ① 市長杯で優勝した個人又は団体
- ② 県大会以上の規模の大会で優勝した個人又は団体
- ③ 全国大会以上の規模の大会で3位以上の成績をおさめた個人又は団体

企業版ふるさと納税

日本アイ・エス・ケイ（株）様
曽根 栄二代表取締役社長
（本社：台東区）

企業版ふるさと納税
寄附受納及び感謝状贈呈式



広沢グループから健康づくりに関する事業に対して、700万円の寄附をいただきました。

筑西市からありがとう
～感謝状贈呈～

❁ 筑西焼きそば王国 様

長年にわたり市の焼きそば文化の普及と地元食材のブランドイメージ確立に尽力されました。

